

第3学年道徳学習指導案

3年2組

- 1 主題名 ささえてくれている人を思って B- (感謝)
- 2 資料名 「とくジーのおまじない」
- 3 ねらい 長年温かい言葉をかけ続けてくれる「とくジー」に感謝する「わたし」の姿などを通して、生活を支えてくれる人にどんな気持ちで接するのが良いかを考えさせ、尊敬と感謝の心で接しようとする実践意欲を育てる。
- 4 本時の指導計画

過程	学習活動と内容	◇指導上の留意点☆学習状況の把握
導入	<p>1.自分の生活を支えてくれている人を思い出す。</p> <p>○みなさんがお世話になっている人は、だれですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家族、料理や洗濯、掃除をしてくれている。 ・学校の先生、勉強を教えてくれている。 	<p>◇自由に発言させつつ、学びのテーマに近づける。</p> <p>◇出てきた意見を板書しておくことで、発問3に活用させる。</p>
展開	<p>2.「とくジーのおまじない」を読んで話し合う。</p> <p>○とくジーに、「おかえり、元気で、またあした。」と言われると、「わたし」はどうして元気が出てくるのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おまじないが面白くて楽しいから。 ・嫌なことがあっても励まされるから。 ・とくジーが自分たちのことを見守ってくれていると思うと安心するから。 ・お兄ちゃんやお姉ちゃんが小学生のときから見守っていると知ってすごいと思ったから。 <p>◎「わたし」は、とくジーに、どんな思いを込めたおまじないの言葉を言ったでしょう。演じてみましょう。</p> <p>(わたし役)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「とくジー、いつもありがとう。」 ・「雨の日もいてくれてうれしいよ。」 ・「ずっと元気で見守ってね。」 <p>(とくジー役)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「見守り隊をされていてよかった」 ・「みんなの笑顔で元気がもらえる。」 ・『ありがとう』と言われると嬉しい。」 <p>3. あなたを支えてくれているのは、どんな人ですか。その人にどんな「ありがとう」を伝えたいですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お家の人に感謝をしたい。 ・門で旗振りをしてくれている主事さん。 ・公園で遊んでくれる施設の人。 	<p>◇「わたし」が無意識のうちにとくジーに支えられていることを押さえ、「わたし」の中に、とくジーに対する尊敬や感謝の気持ちが沸き上がってきていることを意識させる。</p> <p>◇表面的な考えにとどまってしまうないように「わたし」と姉とのやりとりの内容にふれて考えさせる。</p> <p>◇ペアで「わたし」役ととくジー役に分かれて演じさせる。「わたし」役の子童には、とくジーに何と声をかけるのか考えさせて、とくジー役の子童には声をかけられてどう思ったかを考えさせる。役は必ず交代して両方の役を行う。ペアでの活動ののちに役割演技をして思ったことをクラス全体で共有する。</p> <p>◇家族、学校生活、地域の人など、視野を広げて考えるように促す。</p> <p>☆これまで自分の生活がどんな人に支えられてきたのかについて振り返っている。(発言、ワーク)</p>
終末	<p>4. これまでの自分を振り返り、今後の自分について考える。</p>	<p>◇自分の学習の状況について認識できるように振り返らせる。</p>

評価：自分たちの生活を支えている人たちの存在について気付き、尊敬と感謝の気持ちをもつことの大切さについて考えることができたか。